

【1号議案】

平成23年度（公益財団分）

自 平成24年2月14日

至 平成24年3月31日

事業報告書

開催日 平成24年6月26日

場 所 金谷コミュニティセンター

公益財団法人 金谷美術館

平成23年度事業報告
(公益財団)

自 平成24年2月14日

至 平成24年3月31日

I はじめに

(1) 金谷美術館は、一般財団法人として平成21年12月22日に設立登記を完了し、平成22年3月15日に記念式典を行い、開館した。

その後、公益社団法人及び一般財団法人の認定等に関する法律(以下「認定法」という。)による認定を、平成24年2月14日に千葉県知事から認定され、同日、登記を完了した。

この事業報告は、公益財団法人になってからの初めての事業報告であり、当該年度は、平成24年2月14日から平成24年3月31日までの47日間の事業期間(公益財団法人の事業に係わるものをいう。以下「公益財団事業」という。)であるため、一般財団法人としての初年度の実施事業を、平成23年度中に行われた別表1として年間事業の一覧表の形式で作成し、そのうち公益財団事業の事業として実施したものについてこの事業報告書で特記して報告するにした。

公益財団事業では、一般財団法人の事業を継承しつつ、公益財団法人としても金谷美術館は、美術品の鑑賞だけではなく、美術館と一体となった地域の街づくりに挑戦し、これを実現し、地域の振興、地域の活性化を図るとともに、地域文化と地域の自然環境を生かし、これを活用した地域の催行事やイベントを掘り起こし、多くの地域住民の手による参加型の展覧事業を推進している。これらの事業概要を、平成23年度(47日間)の公益財団事業とりまとめて報告するものである。

自然に親しみながら、賑わい、潤いのあるまちづくりを実現し、金谷地域の地域振興のみならず南房総地域の振興にも貢献し、地域の文化、芸術、教育にも寄与することが金谷美術館の最大の目的である。

公益財団事業も地域の「美しいもの大切なものを、みんなで伝えのこし生かしていく美術館」であることを主眼に事業を展開してきているが、この事業報告書をご高覧頂き、金谷美術館が地域の美術館として、更なる発展を実現し、多くの皆様方に愛される美術館となるための建設的なご意見を頂ければ幸いである。

(2) 平成24年2月14日から金谷美術館は一般財団法人から公益財団法人成りを達成したが、当公益財団法人の事業は、一般財団法人の事業を継承しつつ、これらの諸事業を公益財団法人に相応しい目的に沿った公益目的事業をより多く、積極的に展開して行くことにしている。これらの事業は当美術館の独自の財政力では無理があり、多くの法人、団体、個人のご支援と協力なくしては困難である。そこで、これらの団体の支援当を頂くために当公益財団としてのたゆまない努力と真摯な経営改善に邁進行くことが肝要であると考えている。

II 公益における事業の概況

この美術館の開館が予定どおり実現したことは多くの関係者のご支援とご協力の賜物であり、地域住民のボランティアによる知恵と汗、力の結集が、金谷美術館の創造と建設をもたらした。

この金谷美術館は、地域の「まちづくり」の核として建設されたものである。まちづくり、都市づくりは、人と金と時間が必要と言われ、古代社会から多くの街や都市が創生されては消えきた、この事実は、歴史の示すとおりである。

近年、環境と文化、教育等のソフトの社会的基盤整備が、まちづくりには必要であるため、美術館、博物館の社会的基盤整備が積極的に行われてきたが、これも多くの人と金と時間が必要であるため、国や地方行政機関や公益的団体を主体に整備され、管理と運営が行われてきたが、近年は、財政事情の悪化により、地方公共団体等の管理運営によるものが少なくなっていることも実情である。

このような社会経済環境のなかで、あえて金谷美術館を開館したことは、当地区において人口減、少子高齢化が進展し地域活性化が緊急の課題であるとの背景がある。古より鋸山での石切りの歴史文化があり風光明媚な景色と海の幸、山の幸に恵まれた地域資源を有しながらも、地域が疲弊して行く現状を打破するため、新たなるリスクに挑戦し、まちづくりの核として数多くの篤志家とボランティアの支援と協力を得ながら、この美術館を開館し、運営している。

しかし、その運営には財政的には非常に厳しいものがあることは、平成23年度の公益財団法人の収支決算書等の財務諸表の数字が示すとおり厳しい経営環境にある。

この事業報告書は、当美術館が開催した特別企画展の展示事業のほか、当美術館の事業の一つである地域振興、街づくりのために、当美術館が主催した催行事（イベント等）についても併せて別表1で報告している。

III 平成23年度の公益財団事業の実施状況

1 美術館の展観事業

平成23年度中の金谷美術館の展示事業は、別表1及び別表2のとおりであるが、公益財団事業分としては、別表1及び別表2のNo.5「白井烟岳」の展示事業のみである。

展観事業の収支は非常に厳しい状況であるが、地域振興及び街づくりのため、当公益財団法人は継続して展観事業の充実に努力し推進して行くことにしている。

金谷美術館の主役は、地域の人達であることはもとより、多くの人達に理解し、周知して頂くために、展観事業等の情報を広く開示し、展観事業の概要について、報告している。

2 平成23年度公益財団の展示事業と金谷美術館入館者数

平成23年度中の入館者数は6,264人と、前年度の入館者数7,850人に比較して、約1,600人減少しているが、東日本大震災による南房総地区への観光客の減少によるものと考えられる。

公益財団の展観事業は、前述のとおり別表1及び別表No.2の公益欄の「白井烟岳」の展

示事業の一部が公益財団の事業となる。展観事業年間の総事業費は25,150千円で、そのうち公益財団の展観事業は別表2のNo.5の(公益欄)の「白井烟岳」の4,269千円の展示事業のみである。また、公益財団期間における展観事業に係わる入館者は1,137人でその概要は別表3のとおりである。

なお、参考のために一般財団法人期間(平成23年4月1日から平成24年2月13日)の入館者は別表4、平成23年度通年の展観事業の入館者の状況は別表5のとおり掲載した。

3 展観事以外の業美術館の主催等の事業

金谷美術館は、地域の街づくりの核となり、地域活性化、地域振興、地域の人材育成をも一体として実現し、このための関連催行事を美術館が主催者となって、美術館の目的事業である次の催行事を開催している(別表1)。

別表1は、平成23年度中の事業すべてを掲載しているが、このうち公益財団事業としては、次の事業が実施されている。

- (1) 人材育成事業(定款第4条第2号) 「シェフワン、コンサート」
- (2) 文化活動の指導助言(定款4条3号) 「羽子板と上総凧」
- (3) 文化活動の指導助言(定款4条3号) 「白井烟岳の白抜き」

4 街づくりのための事業(定款4条第7項)

街づくり事業は、街づくり、地域振興のための当公益財団の重要な事業であり、これらの企画、催事の執行、進行、費用負担等は金谷美術館が行っている。その概要は別表1のとおりであるが、公益財団になってからの事業に該当する事業としては「ひな祭り」事業がある。なお、参考のために平成24年度のすべての実施事業を別表1及び別表2に掲載した。

(参考)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 美術工芸に関する知識及び教養の向上を図るための展覧会の開催
- (2) 美術工芸の教育及び普及のための講演会、映画会、相談会等の開催
- (3) 美術工芸に関する調査研究及び文化活動の指導助言
- (4) 展覧会の図書及び入館記念品の頒布
- (5) 前各号の事業の用に供する施設の維持及び管理運営
- (6) 美術工芸品の蒐集事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(注) 別表1から別表5までは巻末に掲載

なお、別表1及び2については、一般財団に属する事業は、表の末尾に「一般」と表示し、公益財団事業に属するものは「公益」と表示した。

IV 運営組織の開催状況（公益財団法人）

1 評議委員会の開催状況（第1回）

(1) 日 時 平成24年3月28日（水） 午後4時から午後6時

(2) 場 所 富津市金谷コミュニティセンター

千葉県富津市金谷 2197-18（TEL：0439-69-2070）

(3) 出席状況・議事の概要

出席評議員（4名）を確認し、定款第23条第1項に基づき第1回評議員会が成立、評議員長池田 亨議長の議事進行により、審議事項については、意義なく承認された。

(4) 議 事

【審議事項】

(1) 平成23年度の事業報告（平成23年4月1日～平成24年2月13日まで）

* 6月下旬開催の理事会に提出を報告

(2) 平成23年度の収支報告（平成23年4月1日～平成24年2月13日まで）

* 6月下旬に開催される理事会に提出を報告

(3) 平成24年度の事業計画（平成24年4月1日～平成25年3月31日まで） 資料No.1

(4) 平成24年度の収支計画（平成24年4月1日～平成25年3月31日まで） 資料No.2

(5) 会員に関する規程……………資料No.3

(6) 入会申込書……………（資料4）、入会承認書の様式……………資料No.5

(7) 税額控除に係わる証明……………資料No.6

(8) 美術館図録の作成について……………資料No.7

(9) 運営委員会の設置について……………資料No.8

(10) 今後の日程につて……………資料No.9

(11) その他

【報告事項】

(1) 理事長からの報告事項について

(2) その他の役員からの報告事項等について

(3) その他の報告事項について

※配布資料は、議事録に編綴し、保存

2 理事会の開催状況

(1) 日 時 平成24年3月28日（水） 午後6時30分から午前0時

(2) 場 所 富津市金谷コミュニティセンター

千葉県富津市金谷 2197-18（TEL：0439-69-2070）

(3) 出席者 出席理事5名、定款第41条第1項に基づき第1回理事会が成立、理事長 鈴木裕士議長の議事進行により、審議事項については、意義なく承認された。

(4) 議 事

【審議事項】

(1) 平成23年度の事業報告（平成23年4月1日～平成24年2月13日まで）

* 6月下旬開催の理事会に提出

(2) 平成23年度の収支報告（平成23年4月1日～平成24年2月13日まで）

* 6月下旬に開催される理事会に提出

- (3) 平成24年度の事業計画（平成24年4月1日～平成25年3月31日まで）
資料No.1
- (4) 平成24年度の収支計画（平成24年4月1日～平成25年3月31日まで）
資料No.2
- (5) 「入会申込書
- (6) 今後の日程について
- (7) その他

【報告事項】

- (1) 理事長からの報告事項について
- (2) その他の役員からの報告事項等について
- (3) その他の報告事項について

※配布資料は、議事録に編綴し、保存

金谷美術館の主な平成23年度実施事業

別表1

事業の種類	イベント名	開催時期	主催者	参加者数 (人)	場 所	イベントの内容（概要）	公益・一般
定款4条1号	愛の表情	2011.4.2～6.27	金谷美術館	1,421	金谷美術館	江戸期の美人画を中心とした展示	一般
	久住三郎	2011.7.2～9.26	金谷美術館	1,305	金谷美術館	ひまわりをモチーフとした近代絵画の展示	一般
	日本の絵画っておもしろい	2011.10.1～12.25	金谷美術館	1,201	金谷美術館	俳、仏、蟬の日本画の魅力をわかりやすく展示	一般
	海を越えて支え合う子ども達	2012.1.2～1.22	金谷美術館	1,020	金谷美術館	子ども達の絵を美術館と金谷町内に展示。 チャリティー	一般
	白井烟岳	2012.1.28～4.1	金谷美術館	1,311	金谷美術館	金谷に所縁のある作家、白井烟岳の特集。	公益
定款4条1号	鈴木南汀	2011.4.2～6.27	金谷美術館		金谷美術館別館	金谷の名主であり書画にも通じた鈴木南汀の 関係資料を紹介	一般
	金谷・鈴木家の名品	2011.7.2～9.26	金谷美術館		金谷美術館別館	金谷の名主であった鈴木家が代々受け継いで 来た名品を展示	一般
	続・日本の絵画っておもしろい	2011.10.1～12.25	金谷美術館		金谷美術館別館	本館での展覧会に併せて、石蔵でも同内容の 展示を実施	一般
	白井烟岳制作の過程	2012.1.14～4.10	金谷美術館		金谷美術館別館	本館で実施する展覧会に併せ、石蔵では下図 を中心に画家の制作の過程を紹介	公益
定款4条2号	トークイベント	2011.7.16	金谷美術館	50	金谷美術館	絵画化された音楽、あるいは音楽の中にある 身体について	一般
定款4条7号	ひまわりで金谷を埋める	2011.7.2～9.26	金谷美術館	50	金谷町内	金谷のまちをプランター付ひまわりで設置	一般
定款4条3号	子供工作教室	2011.8.2	金谷美術館	20	金谷美術館	親子で夏物工作	一般
定款4条2号	コンサート	2011.9.24	金谷美術館	100	金谷美術館	展覧会のイメージとあわせた太鼓ライブ	一般

別表1

事業の種類	イベント名	開催時期	主催者	参加者数 (人)	場 所	イベントの内容（概要）	公益・一般
定款4条3号	写経	2011.10.10 2011.11.12 2011.12.10	金谷美術館	30	華蔵院	写経	一般
定款4条7号	クリスマス	2011.11.30~12.25	金谷美術館	150	金谷美術館	クリスマスまでの数日間カップルで入館でプレゼント	一般
定款4条3号	羽子板と上総凧	2012.1.1~1.31	金谷美術館	10	金谷美術館	1ヶ月間巨大羽子板と上総凧の展示	一般
定款4条2号	シェフワン、コンサート	2012.1.21	金谷美術館	101	金谷美術館	被災地へ募金するためのチャリティーパーティー	一般
定款4条7号	ひな祭り	2012.2.10~3.3	金谷美術館	140	金谷美術館	2週間ひな人形の展示	公益
定款4条3号	白抜き	2012.3.4	金谷美術館	5	合掌館	白井烟壺の白抜きを真似る	公益

別表2

No.	イベント名	開催時期	主催者	事業費	入館者数 (人)	公益・一般
1	愛の表情	2011.4.2～6.27	金谷美術館	5,075,421	1,427	一般
2	久住三郎	2011.7.2～9.26	金谷美術館	8,270,615	1,305	一般
3	日本の絵画っておもしろい	2011.10.1～12.25	金谷美術館	4,568,342	1,201	一般
4	海を越えて支え合う子ども達	2012.1.2～1.22	金谷美術館	2,967,455	1,020	一般
5	白井烟岳	2012.1.28～4.1	金谷美術館	4,269,007	1,311	公益
	合計			25,150,840	6,264	

別表3

平成23年度 一般財団法人金谷美術館の入館者数

(自平成24年2月14日 至平成24年3月31日)

有・無料 入館者	種 類		入場者数 (人)	うち優待割引入 館者 (人)	備考
有料	大人(大学生を含む。)		324	274	団体以外の有料入館者
	中学生・高校生		5	4	
	小学生		3	1	
	団 体	団体数	680		20人以上の団体割引
		17			
	有料年間パスポート		2		有料年間パスポート
小計		1,014			
無料	無料年間パスポート		10		役員・職員・金谷小等
	無料招待者等		113		寄付者・特別関係者
	小計		123		
年間入館者数	合計		1,137		
年間入館料(円)			282,560		

別表4

(自平成23年4月1日 至平成24年2月13日)

有・無料入館者	種 類	入場者数 (人)	うち優待割引入 館者 (人)	備考
有料	大人(大学生を含む。)	1,846	955	団体以外の有料入館者
	中学生・高校生	54	8	
	小学生	9	3	
	団 体	団体数 13	325	20人以上の団体割引
	有料年間パスポート		18	有料年間パスポート
	小計		2,252	
無料	無料年間パスポート	30		役員・職員・金谷小等
	無料招待者等	2,845		寄付者・特別関係者
	小計	2,875		
年間入館者数	合計	5,127		
年間入館料(円)		1,939,360		

別表5

平成23年度 一般財団法人金谷美術館の入館者数

(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

有・無料入館者	種 類	入場者数 (人)	うち優待割引入 館者 (人)	備考
有料	大人(大学生を含む。)	2,170	1,229	団体以外の有料入館者
	中学生・高校生	59	12	
	小学生	12	4	
	団 体	団体数 30	1005	20人以上の団体割引
	有料年間パスポート		20	有料年間パスポート
	小計		3,266	
無料	無料年間パスポート	40		役員・職員・金谷小等
	無料招待者等	2,958		寄付者・特別関係者
	小計	2,998		
年間入館者数	合計	6,264		
年間入館料(円)		2,221,920		